

埼玉県老人クラブ連合会機関誌

平成28年
12月15日 NO.110

彩愛クラブ埼玉

SAIAI CLUB SAITAMA

目次	●平成28年度 第3回理事会／市町村老人クラブ連合会長研修会	2
	●平成28年度 健康づくり大学入学式	3
	●平成28年度 新任単位クラブ会長研修会	4
	●平成28年度 シルバースポーツ大会	5
	●平成28年度 社交ダンス大会	6
	●第45回全国老人クラブ大会	7
	●特集「新地域支援事業」について⑤	8-9
	●会員増強特集「越生町たかとりクラブ連合会の活動」	10
	●さしまスローライフと地元小学校の連携による振り込め詐欺被害防止研修会	11
	●川越市老連女性部「養護老人ホームでの交流会」	12
	●彩愛クラブ志木「老人ホーム慰問活動を実施」	13
	●全国老人クラブ女性リーダーセミナー／熊本地震災害救援抛金の御礼と報告	14
	●元気に活躍する会員さん紹介／編集後記	16



彩の国

平成二十八年年度 第三回理事会

平成二十八年九月十三日（火）、彩の国すこやかプラザにおいて第三回理事会を開催しました。

出席者は理事十七名、監事二名で概要は次のとおりです。

議事録署名人

- ・会長 高橋義一
- ・監事 野口元固
- ・監事 後藤勉

◆第一号議案「平成二十九年年度県の予算編成に対する要望について」

左記の四項目を県に要望するこ
とで承認されました。

- 一 単位老人クラブに対する助成費の確保
- 二 市町村老人クラブ連合会に対する助成費の確保
- 三 県老連が行う健康づくり事業に対する補助金の確保
- 四 県老連事務局職員体制の充実と運営に対する支援

◆第二号議案「平成二十八年年度県老連会長表彰被表彰者等の選考について」

候補者・候補団体全てを表彰することに決定しました。

◆第三号議案「定款の一部改正について」

原案のとおり承認されました。

◆第四号議案「平成二十八年年度埼玉県老人クラブ健康づくり大学「県老連役員との懇談交流会」の参加について」

左記の五名が参加することに決定しました。

高橋義一、竹内榮一、成田準之助、玉水きみ子、大久保留里子

◆第五号議案「平成二十九年版皇室カレンダーの斡旋について」

本多観光を通して一本千円（税込）で斡旋することで承認されました。

市町村老人クラブ連合会長研修会

平成二十八年七月十三日 彩の国すこやかプラザ

午後一時二分、成田準之助県老連副会長の開会の言葉、埼玉県歌合唱に続いて、

高橋義一県老連会長は挨拶で、

全国で百万、埼玉で三万人の会員増強は我々の命題である。そのためにはぜひとも現在の老人クラブの若返りを果たさねばならないと強く訴えた。六十五名の

出席者の自己紹介があり、続いて

落合一弘事務局長の、

県老連の「三万人会員増強運動」

の進捗状況について①単位クラブ解散防止、新設クラブを多くする努力。②単位クラブの増強運動は成果をあげているが、減少数が多いので、統計的にはマイナス。③二十六年と二十七年の比較では、会員減が千六百人ほどにとどまり、増強運動の成果と考えたいとの説明があった。続いて

椎名久美子主査が、

新地域支援事業について説明。平成二十七年から、市町村ごとに新地域支援事業が実施される中で、市町村における協議の場に老人ク

ラブが関わられることを県老連として、積極的に協力していきますと事務局より力強い言葉。

質疑・意見交換が続いて行われ、市老連の事業を市の事業と統合して介護予防・生活習慣病予防・健康増進活動を推進（新座市）。健康体操を月三回、定例化したことよって、充実した活動ができるようになった（春日部市）。地区の行事（神楽）に参加することで、地域交流を図る（小鹿野町）などがあり、三時四分閉会。

深谷市 小林 英



平成28年度 埼玉県老人クラブ健康づくり大学学生名簿

No	氏名	市町村名	No	氏名	市町村名
1	高橋 泰江	川越市	21	山崎小夜子	川口市
2	木村 澄江	川口市	22	鈴木 節子	川口市
3	後藤 勝夫	川口市	23	鈴木 敏雄	川口市
4	安田 琴二	川口市	24	柳元 操子	川口市
5	猪本 三朗	川口市	25	小藤 伸一	さいたま市
6	星野 栄司	川口市	26	小出 初美	さいたま市
7	石川 博子	川口市	27	篠原 孝彦	さいたま市
8	木村 忠夫	川口市	28	野口 久代	さいたま市
9	石田テル子	川口市	29	小山 久夫	加須市
10	西村ユリ子	川口市	30	溪 圭一郎	上尾市
11	吉田タカ子	川口市	31	水野 満	上尾市
12	岩澤 勝徳	川口市	32	清水 照久	越谷市
13	中島 恵子	川口市	33	楠本 智子	新座市
14	藤井 美子	川口市	34	相庭 一江	新座市
15	夏目 敬子	川口市	35	坂下 弥八	北本市
16	松本トシ子	川口市	36	広瀬 敏江	蓮田市
17	風間 洋衛	川口市	37	吉岡富美子	吉川市
18	村岡 良昭	川口市	38	松田とし子	吉川市
19	鈴木みわ子	川口市	39	密照よし子	川口市
20	船戸喜久代	川口市	40	菅野 英男	川口市

平成二十八年度 健康づくり大学入学式

平成二十八年七月二十日（水）
午前十一時より、入学生四十名を
迎えて、彩の国すこやかプラザセ
ミナーホールで行われた。

竹内榮一県老連副会長の開会の
ことばに続いて高橋義一学長（県
老連会長）の歓迎と激励のことば
があり、その後、成田準之助副会
長による斎藤十郎全老連会長、田
島浩埼玉県福祉部長からの祝電の
代読。県老連の役員の紹介。入学

者代表岩澤勝徳氏（川口市）の誓
いのことばと続き、広報委員小林
松十郎氏の閉会のことばで入学式
は終了した。

式後、県老連役員と入学生の記事
撮影。椎名主査より今後の日程
や教育課程の説明があった。
また、学生のグループが五班に
編成され、学生委員長に猪本三朗
氏（川口市）が選出された。
午後一時からは、第一回の講義



入学生代表岩澤勝徳氏の
誓いのことば



高橋学長による「健康よもやま話」

として、高橋学長（埼玉県健康管
理士会会長）が健康について、「金
がかからずに食物が薬」という健
康維持等についての「健康よもや
ま話」を二時間話され、午後三時
に第一日目は終了した。

◎高橋学長のあいさつ（要旨）

埼玉県の健康づくり大学も、今
年で十四期を迎えた。高齢者の教

養と老人会の活動について学習で
きる専門機関は、本校のみである。
十分に学んでほしい。また、卒業
後は、老人クラブのリーダーとし
て、誇りを持って活躍していただ
きたい。

◎岩澤勝徳入学生代表の誓いのこ
とば（要旨）

今回、健康づくり大学で学ぶこ
とに感謝し、講義に積極的に取り
組み思い出深いものにします。

川越市 小林 松十郎



平成二十八年

新任単位クラブ会長研修会

開かれる

八月二十四日 すこやかプラザで開催された。参加者は、新任会長百十一名、健康づくり大学生三十七名で、計百三十九名。開会のあと、県老連高橋義一会長の挨拶で、全国的に老人クラブ会員が減少している。埼玉県も同様である。三万人増の取り組みを皆さんとともに達成したい。私の住む川口では六十歳以上の方々に加入呼びかけを市と自治会と老人クラブが協働して行う準備をしていることが紹介された。



「講演一」県警から、「防犯リ

ダーが地域の安全を守る」をテーマに講演がありました。地域に密着している世代が地域を見守るのが防犯には一番効果ある。「空き巣」は、人に見られることを一番嫌う。散歩がてらの見回りは効果絶大とのこと。

振り込め詐欺（手渡し）や悪質商法も日頃の友達付き合いの有無が被害に合う合わないの大きな差が出ます。

この講義を受講した方々には、「防犯リーダー委嘱状」が授与された。

「講演二」全国老人クラブ連合会参事の正立斉氏が「老人クラブの



歴史・現状と課題」をテーマで次の様なお話をされた。日本の歴史では、老人を敬

うことは平安時代から活動があったとか。江戸・明治・大正・昭和と段々と今の様な全国組織となつて行きました。昭和三十七年に全国老人クラブ連合会が発足し、五十六年が経過。平成十年には会員八百八十八万人、クラブ数十三万四千のピークを迎えた。平成二十七年では、会員六百万人、クラブ数十・五万となっている。二〇二五年問題と言われている戦後の団塊世代が七十五歳を迎えます。社会保障に使えるお金も無尽蔵ではない。単位クラブの会員増は、自治体から目の届かないところにも光を当てる効果が大きい。ぜひ会員増を目指して欲しい。

皆さんが会長となった背景は様々だと思います。ぜひ後継者を育てていただきたい。ある調査で、クラブを解散した理由のトップは後継者がいないことです。会長の最長期間は四十四年。

最高齢百一歳でした。クラブの活動には次の三点を意識して欲しい。①活動記録の保存と継承。(年間活動記録・総会資料は残す) ②会計の透明性(使途の記録の公開) ③会員の安全対策(老人クラブ保険の活用)



「仲間とともに、明るく、楽しい活動を」で締めくくりました。閉会のことばとして、県老連の竹内榮一副会長からは、単位クラブの会長として、後継者の育成に心掛けてください。

会員を楽しませてください。会長が率先して楽しんでください。約二時間半 受講者各位は、新たな「やる気」を胸に抱き、三々五々帰路につきました。

さいたま市 渡辺 充

平成二十八年年度 シルバースポーツ大会

熊谷スポーツ文化公園

開会式 (九時三十分)

天高し、張り替えられた屋根が陽光に輝く熊谷ドームに、ゲートボール四十四チーム二百八十名、グラウンド・ゴルフ二百二十チーム三百六十名、わなげ五十三チーム百五十九名、マグダーツ二十一チーム六十三名、ペタンク三十六チーム百八名、ソフトテニス十八組三十六名が参加して開式。

来賓のあいさつ・紹介があり、県老連高橋会長の「元気が、頑張るか、勝つか」の激に千名が「元気が、頑張るぞ、勝つぞ」と答える。

ゲートボール

コートに張り替えられた人工芝の緑が目にしみる。

「プレーボール」の声がかかる。コート脇で談笑していた顔が引き締まる。第一ゲートを見極めて打つ。「×番第一ゲート通過」審判の声が高い天井に響く。

ソフトテニス

ゲートボールとネットで隔てられた、コートでは人声がなく、サ

ーブやレシーブと、コートを擦るシューズの音だけだった。

ワナゲ・マグダーツ

体育館が試合場。ワナゲ・マグダーツとも熱気があふれ、高い歓声の中、たいへん盛り上がりつつあった。

グラウンド・ゴルフ



赤・黄・青など様々な色のボールが朱色のトラックに囲まれた芝生を走る。チントマリの音が気持ち良い。

ペタンク

午後になると三十度近くになったので、選手はTシャツ姿が多い。ボールを触らせてもらおうと焼石

を握ったようだった。

(一人の男性が)

ペタンクの競技を見つめていた。競技の模様をメモしていると「老人クラブの人々は楽しくていいね」と話しかけてきた。「うちの方はクラブがないので・・・」とも。好天に恵まれた一日、会場ごとに表彰式があり、午後三時すぎに競技終了。

北本市 佐田一郎
深谷市 小林 英



彩の国プラチナフェスティバル 平成28年度シルバースポーツ大会結果

ゲートボールの部

- 優勝 下平塚球親会 (上尾市)
- 準優勝 深谷市岡部B (連盟)
- 第三位 万吉 (熊谷市)

ソフトテニスの部

- 優勝 西井 隆・松本 幸子 (深谷市)
- 準優勝 佐藤 光郎・佐藤喜美子 (熊谷市)
- 第三位 阿部 隆三・野澤あき子 (上尾市)
- 第三位 赤羽 由雄・高柳由紀子 (熊谷市)

グラウンド・ゴルフの部

団体戦

- 優勝 杉戸町A (杉戸町)
- 準優勝 本庄A (本庄市)
- 第三位 伊奈町長寿クラブ連合会A (伊奈町)

個人戦

- 優勝 田中 邦治 (本庄市)
- 準優勝 野村 三雄 (杉戸町)
- 第三位 岡田 武久 (伊奈町)

ワナゲの部

- 優勝 深谷市Aチーム (深谷市)
- 準優勝 狭山市堀中寿会 (狭山市)
- 第三位 上押切 (熊谷市)

マグダーツの部

- 優勝 狭山市シニアニューウェーブ会 (狭山市)
- 準優勝 西ニクラブ (北本市)
- 第三位 宮本町長寿クラブ椿会 (秩父市)

ペタンクの部

- 優勝 セルクル (連盟)
- 準優勝 片柳C (連盟)
- 第三位 川本三人娘 (連盟)
- 第三位 片柳A (連盟)



平成二十八年年度

社交ダンス大会

平成二十八年十一月二日(水)
正午より社交ダンス大会がふじみ
野市総合センター・フクトピア二
階多目的ホールで開催。

●開会式

県老連竹内第一副会長の開会の
言葉で始まり、県老連高橋義一会
長の主催者挨拶。ふじみ野市いき



いきクラブ連合会細井地久会長の
歓迎の言葉があり、来賓のふじみ
野市高畑博市長の祝辞。続いて役
員とプロダンサーの紹介でセレモ
ニーは終了した。

●ダンスタイム

十二時二十分より十三時まで。
本日は、さいたま市一チーム、吉



川市二チーム、和光市一チーム、
所沢市一チームの五チームと、狭
山市と志木市より各二名の八十
一名が参加。各自ともフォーメーシ
ョンの準備のためか自由に踊りだ
した。

●フォーメーション

十三時より十三時三十分まで五
チームにより行われた。各チーム
とも日頃の練習の成果を充分に発
揮、素晴らしいダンスを披露した。
審査は、プロダンサーの三上和
子氏、三上芳弘氏、小山百合子氏
により行われた。

●プロダンサーによるデモンストレーション

三上芳弘氏と小山百合子氏のお
二人は、スタンダードA級。素晴
らしいダンスで、全員が目丸く
して拍手喝さい。

●審査結果

●第一位 埼玉県老連会長賞

吉川市連合長寿会社交ダンス
サークル「チャチャチャ」

●第二位 ふじみの市生いき

連合会会長賞

さいたま市西区ポピー
ダンスクラブ「ルンバ」

●第三位 審査員特別賞

所沢市長生クラブ連合会

ダンス部「ルンバ」
グットルーティン賞

吉川市連合長寿会文化部
社交ダンス教室「ワルツ」
ビューティフルライン賞

和光市生いきクラブ連合会
「ルンバとタンゴのミックス」

●閉会式

フォーメーションの審査結果に
基づいて表彰式を実施。

続いて、三上芳弘プロより各チ
ーム毎の講評を頂いた。その後、
県老連落合一弘事務局長より閉会
の言葉があり、社交ダンス大会は
終了した。

川越市 小林 松十郎

第四十五回

全国老人クラブ大会（富山）

平成二十八年十一月九・十日の

両日、全国から千三百余名の参加のもとに、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに開催。

本県からは、高橋県老連会長・落合事務局長ら十四名が参加。

第一日 活動交流部会

正午より午後四時三十分まで、三会場で行う。

◆第一部会（タワー一）

テーマ 地域に健康づくり・介護予防活動の輪を広げよう！

本県の参加者は十二名が第一部会に参加。主な内容は次の通り。

○厚生労働省老健局長による、地域新事業の説明

○新座市老連細谷節子友愛活動部会長による「健康長寿のまちに

いざ」の実現に向けて」と題する、健康活動を市と老連が統合し、会員が市の事業に積極的に参加推進した発表。

○助言者 高岡市福岡地域包括支援センター所長の茂古沼江里氏より講評

高齢者が地域の担い手として活躍することが期待されている中で、新座市老連が市役所と共に協力し、

地域の高齢者と新地域支援事業に参画することは大変すばらしいことだとお褒めの言葉をいただき、

埼玉県として、新座老連に続き、頑張って推進していかなくては

いけないと強く感じた。



身体を維持していくためには、まず「歩く」ことが必要なことから、外出や他者との交流を促すような生活環境の整備に心掛けています。

◆アトラクション

（十時二十分～十時四十分）

富山県立南砺平高等学校郷土芸能部生徒による郷土芸能「越中五箇山民謡」、女子高校生による和楽器の演奏。指導は地元の高齢者であるとのこと。

◆式典（十一時～十二時）

①歓迎のことは、②国歌斉唱、③黙祷、④挨拶、⑤表彰では県老連副会長の成田準之助氏が育成功労表彰、越谷ファミリータウンシルパーククラブが優良老人クラブ表彰、新座市老人クラブ連合会が優良郡市区町村老人クラブ連合会表彰を受賞。

次いで、厚生労働大臣、富山県知事らの祝辞、富山県老連副会長から宣言朗読。

次回大会の会場である京都府老連の香月芳雄会長より、「おいでやす京都へ」の誘いのことばで締め

る。閉会の辞に続いて、「青山山脈」を参加者全員で合唱し閉幕。

さいたま市 竹内 榮一



総力を結集して、埼玉3万人

会員増強を達成しましょう

110号
特集

「新地域支援

～新座市老人クラブ連合会が新地域

事業」について 5

支援事業に参画するまでの経緯～

109号でも紹介させていただきましたが、現在、新座市老人クラブ連合会は、健康体操やウォーキングなど老人クラブで実施していただく事業を市の事業として統合し、「健康活動」から新地域支援事業に参画しております。下記は新しい総合事業の典型例の表となりますが、新座市もこれらの例を踏まえて、地域の事情に応じたサービスの検討を進めております。

また、新座市老人クラブが関われるのではないかという事業について、色づけをしており、今後、更にこの色づけの範囲が拡大できるように地域の方々との連携に努め、老人クラブの活躍の場が広がればと考えております。



新座市
イメージキャラクター
ゾウキリン

1. 新しい総合事業の典型例（※各市町村は、これらの例を

踏まえて地域の事情に応じたサービス内容を検討）

地域支援事業
(介護保険法115条の45)

介護予防・生活支援サービス事業 ・要支援認定を受けた者 ・基本チェックリスト該当者	訪問事業	訪問介護 / 現行の訪問介護相当 (必須事業)	訪問看護員による身体介護、生活援助	訪問介護員 (訪問介護事業者)
		訪問型サービスA / 緩和した基準によるサービス	生活援助等	主に雇用労働者
		訪問型サービスB / 住民主体による支援	住民主体の自主活動として行う生活援助等	ボランティア主体 《老人クラブが関われる事業》
		訪問型サービスC / 短期集中予防サービス	保健師等による居宅での相談指導等	保健・医療の専門職
		訪問型サービスD / 移動支援	移送前後の生活支援	ボランティア主体
	通所事業	通所介護 / 現行の通所介護相当 (必須事業)	通所介護と同様のサービス 生活機能向上のための機能訓練	通所介護事業者の従事者
		通所型サービスA / 緩和した基準によるサービス	ミニデイサービス 運動・レクリエーション等	主に雇用労働者 + ボランティア
		通所型サービスB / 住民主体による支援	体操、運動等の活動など 自主的な通いの場	ボランティア主体 《老人クラブが関われる事業》
	生活支援事業	通所型サービスC / 短期集中予防サービス	生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラム	保健・医療の専門職
		栄養改善を目的とした配食 住民ボランティア等が行う見守り 訪問型サービス、通所型サービスに準じる 自立支援に資する生活支援	栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者に対する見守りとともに 住民ボランティア等が行う訪問による見守り 訪問型サービス、通所型サービスの一体的提供等	《老人クラブが関われる事業》
一般介護予防事業 ・第一号被保険者全て及び 支援のための活動に関わる者 ・全ての高齢者対象	①介護予防把握事業	地域の実情に応じて収集した情報等		
	②介護予防普及啓発事業	介護予防活動の普及・啓発を行う 《新座市老人クラブ会員参加》 ・にいざ元気アップ広場 ・にいざ元気アップウォーキング		
	③地域介護予防活動支援事業	地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う 《新座市老人クラブ会員参加》 ・にいざ元気アップトレーニング		
	④一般介護予防事業評価事業	一般介護予防事業の事業評価を行う		
	⑤地域リハビリテーション活動支援事業	地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運動の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する		

2. 新しい包括的支援事業・任意事業

包括的支援事業	中央会議 (第1層協議体) として設置されている新座市地域包括ケアシステム推進会議に老人クラブ連合会会長が参加 日常生活圏域毎に開催している生活支援体制整備研究会 (第2層協議体) には、各単位老人クラブ代表者39名が参加 《新座市老人クラブ会員参加》
任意事業	認知症サポーター養成講座 《新座市老人クラブ会員受講》



会員増強特集

越生町たかとりクラブ連合会の活動



毎年、一クラブ増加を実現

平成二十八年八月九日午後二時より、越生町社協の事務所にて、「越生町たかとりクラブ連合会」の会長石田準一氏（八十四歳）と副会長高山好晴氏及び社協事務局の坂口淳氏に会員増強の秘訣を伺った。

石田会長は、平成二十六年四月二十五日に連合会の会長に就任。

「特別に会員増強の為の方針等は打ち出していない」と、謙遜をしているが、平成二十七年会員数は、五八五名（男子二四九名、女子三三六名）でした。平成二十八年度は六一八名（男子二五三名、女子三六五名）と三十三名も増加している。

●越生町たかとりクラブ連合会の現状

越生町の平成二十八年度の人口は、一一、九六八人で、内六十歳以上は、四、八一七人で、高齢化率は四〇・二％であり、老人クラブへの加入率も、一二・八％と高かった。

越生町たかとりクラブ連合会としての活動は、「年一回の春の旅行の他は、運動部主体で行っていて、文化部活動は少ない」という。

◎具体的な方策とは。

●老連の名称の変更。

「越生町老人クラブ連合会」を、地元の名前（大高取山）をとり「越生町たかとりクラブ連合会」に変更した。

●老人会の活動目標を明確化。

「老人会の活動目標を①健康 ②長寿 ③交流（外に出る）と、明確にしたところ、グラウンド・ゴルフやペタンクをして、健康になろう」と、若い人が多数入会してきているという。



●老人会ゼロの地区に核となるキーマンを発掘して、新会の発足を願っている。

越生町は先祖代々住み付いている人が多く、地元のネットワークがしっかりと根付いているので「どこにどんな人がいるか」石田会長は良くご存じのようである。

前町会議員・元学校の先生・元介護士「地区の核になるキーマン」を見つけては、老人会の発足を依頼してまとめて貰っている。「来年も二クラブが発足の予定」で、現在三年連続で一クラブ増加を実現しております。大変にうらやましく感じました。

●老人会への参加が運動（グラウンド・ゴルフ、ペタンク等）のみでもけて文句は言わない。

新しく老人会を作る時は古い慣習にこだわらず、通常の会合や飲み会に出なくても、けして文句は言わないし、運動だけの加入も認めているので、若い六十歳代の女の人が多く加入の気配をみせているという情報があるという。

●「マイレージ事業カード」のポイント制度を導入。

越生町の事業（ウォーキング、ラジオ体操）と、老人会の事業（グ

ラウンド・ゴルフ、ペタンク、カラオケ）に参加すると、一ポイントが貰え、五十ポイント貯まると五〇〇円の賞品券に交換して、地元の商店で買い物ができる。これが会員加入の要因になっていると思われる。

●会長の耳はロバの耳。

「人は宝なり」「人が人を呼ぶ」

石田会長と高山副会長のお二人が温厚で、面倒見の良い人柄であるという事はすぐ判断できました。「会長の耳がロバの耳で、どんなことでも聞いてやり、面倒を見てやると、会員になりたいと加入してくる人が増えてくる」との高山副会長のお言葉でした。



尚、高山氏が地区会長に就任したら、即、若い会員が多数加入した実績があるという。

川越市 小林 松十郎



さしまスローライフと地元小学校の連携による 振り込め詐欺被害防止研修会

「児童から「敬老の日おめでとう♡いっしょもありがとくと気持ちの伝達」

本年九月十六日（金）川口市立
差間小学校体育館で、さしまスロ
ーライフの皆さんと小学校及び県
警察本部、武南警察署の協働によ
って「振り込め詐欺被害防止研修

会」が開催されました。

さしまスローライフの皆様は、
日ごろから地元川口差間小学校と
・登下校時の児童見守り活動
・たけとんぼやおはじきなどの昔
遊び教室

・児童との小学校周辺の清掃活動
等の活動で連携を深めており、
小学校での振り込め詐欺防止の研
修会が実現いたしました。

研修は、二部構成で、第一部で
は全校児童から、さしまスローラ
イフの皆さんに敬老の日に贈る歌
（野に咲く花のように）のプレゼ
ントと、六年生児童から、振り込
め詐欺の被害防止に役立つ「手作
りメッセージカード」が贈呈され
ました。

子供たちの元気な歌声や、手作
りのメッセージカードは、日々の
通学路での見守り活動の疲れを吹
き飛ばし、さらなる活動へのエネ
ルギーとなりました。



メッセージカードの贈呈では、
「だまされて取られてしまうお金
は、孫のために使ってください。」
と、子供の素直な表現に、会場に
笑い声があがるなど和やかな雰
気につつまれ、思いがけないプレ
ゼントに胸が熱くなる思いでした。
第二部では、警察本部生活安全
企画課職員による、振り込め詐欺
被害防止の研修が行われ、被害の
発生状況や、最近のだましの手口
などが伝えられました。

○子供や孫をかたり、急な現金の
用立てを懇願する

○市役所職員をかたり、医療費の
還付金の受け取りの連絡
などで、知識として知っていて

もだまされてしまう狡猾な犯行の
手口が紹介されました。

また、さしまスローライフを代
表して、三名（西澤さん・増田さ
ん・高柳さん）の方が、警察官扮
する振り込め詐欺の犯人からの予
兆電話を受けるシミュレーション
訓練を受けました。

○〇さんは、オレオレ詐欺で、
息子を騙る犯人から急な現金を
要求される事例を

○〇さんは、川口市役所職員を
騙る犯人から医療費の還付金の
返還を告げる事例を

○〇さんは、オレオレ詐欺を見
破り、警察に通報して犯人の逮
捕に協力する事例について、電
話を使って訓練を行い、

犯人役と代表者のやり取りがス
ピーカーを通じて放送され、臨場
感あふれるやり取りに研修会の参
加者は真剣に聞き入り、自分の元
にかかってくる電話を想像して、
被害に遭う前に家族に相談しよう
と決意して研修会を終えました。

十月末の県内振り込め詐欺（特
殊詐欺）被害状況

八百件 / 十七億二百五十九万円

県老連 落合 一弘

川越市老人クラブ連合会

女性部が友愛活動の一環として
養護老人ホームでの交流会を実施

女性部の本年度の計画は「友愛活動と地域の支え合い」を目標に掲げ、川越市内の地域包括支援センターでのオレンジカフェ見学や支え合いマップ作成勉強会などを開催してまいりました。その一環として養護老人ホーム「やまぶき荘」の見学と慰問会を計画しました。事前に職員の方と原田副部長が打ち合わせる中で慰問会ではなく、交流会を提案され、九月十六日（金）に実施しました。



当日は女性部十四名と市老連の原会長も参加し、やまぶき荘に向かいました。女性部としては初めて老人ホームでの交流会と言う事もあり、みんな緊張した顔をして訪問しました。やまぶき荘の利用者は百名近くとの事です。やまぶき荘では毎月、色々な団体が慰問に訪れるようです。当日会場に来てくれたのはそのうち五十名くらいでした。

最初に高松施設長のあいさつに続き、原会長のあいさつ。女性部全員で川越音頭を踊りだしました。自分たちの緊張が伝わったのか、最初は笑顔もあまり見られずいました。私たちが踊った後、原会長の楽しい演技を交えた歌が始まると顔が徐々にほころんで笑い声が聞こえてきました。その後利用者さんが歌う頃にはお互いに緊張も解けて一緒に口ずさんでいました。

その後、健康体操を交えた踊りを踊りだすと皆さん一緒になって身振り手振りで踊りに参加していました。その姿を観ると踊りのプロではない私たちが、一方的な慰問ではなく、色々な事情で老人ホームに入っている方と少しでも近づくには同じ視線に立てる交流会にした事は良かったと思えました。友愛活動も一方的なものではなく、高齢者同士がお互いに心を近づけられるような関係を築く事が大切だと、この交流会を通じて思いました。川越市の女性部ではこれからも市内の施設との交流会を実施していきたいと思っています。

川越市 高橋 泰江

大好評! 埼玉県老人クラブ連合会指定旅館!

※平日に限ります

ポイント

- ・15名様以上送迎付宿泊プラン!
- ・傷害保険(死亡時1000万円)付!
- ・宴会時2人に1本の割合でビール付!
- ・宴会は完全個室宴会場で!
- ・宴会時カラオケサービス!
- ・宴会時、全員にお酒又はジュース1本付!
- ・観光を取り入れたオリジナルコースを無料作成!

県	地名	ホテル名	1泊2食(税込)	
			1~3月	4月以降
長野	戸倉上田 [♾]	ホテル雄山	9,150円	12,800円
長野	斑尾花が入 [♾]	バートンホテル	お問い合わせ下さい	
長野	白馬	けやきの樹	お問い合わせ下さい	
栃木	乃木 [♾]	乃木温泉ホテル	11,800円	お問い合わせ下さい

※その他指定旅館以外のホテルも多数ございます! ※10名様から送迎可能なホテルもございます!

詳しくは、お問い合わせ下さい。資料をお送り致します。

個人宿泊から
団体旅行まで
予約・手配・コース作成は

お電話1本で!

全国旅行業協会(ANTA)会員・栃木県知事登録旅行業第3-695号
株式会社 旅らんど

〒320-0822 栃木県宇都宮市河原町7-5 フェニックス瑞雲508号室
028-688-8322 FAX 028-688-8323

営業時間 AM9:00 ~ PM5:30 (定休日:土・日・祝日)

【企画実施】 楽旅クラブ 茨城県知事登録旅行業2-618号
茨城県筑西市幸町3-15-11

志木市老人クラブ連合会(彩愛クラブ志木)

市老連主催で老人ホーム慰問活動を実施

彩愛クラブ志木では、平成二十八年八月二十九日(月)午後二時から約一時間、社会福祉法人「ルフトホフ志木」の二階大ホールにて、慰問活動を実施した。訪問者は、

抜井弥太郎会長(八十四歳)、副会長五名、芸達者五名の合計十一名。対象者は施設のデイサービス・ショートステイの約六十名。その前で慰問の演芸を披露した。

●演目

- ① 芸人の独唱(夫婦坂・母の鞆)
- ② ハーモニカの独唱(八曲)
- ③ 南京玉すだれ
- ④ 全員の独唱(ここに幸あれ)
- ⑤ 全員で合唱(ふるさと)

会場では、歌を口ずさんだり、手拍子をして大感激された。

●慰問活動を始めたきっかけ

行政より「市老連で地域の支え合いを進めて欲しい」との依頼があった。最初は単会で行っていたものを、平成二十五年に抜井会長が市老連の友愛活動として事業に取り入れ、老人ホームの慰問に組み始めた。現在では、四施設を



年二回づつ(役員と芸人約十五名を一チームとして編成)慰問している。

●その他の活動

- ① ワナゲ・マグダーツ大会(年二回)
- ② グラウンド・ゴルフ(年一回)
- ③ 演芸大会(年一回)
- ④ 声かけ、安否確認(単会)
- ⑤ チラシを配布して、とじこもりの予防運動を実施(単会)

川越市 小林 松十郎

老人クラブ「彩愛クラブ埼玉」の皆様



お仏壇
神仏具

店頭
表示価格
より

10% OFF

一部特価品、特注品、一部商品を除く

お線香
ローソク

店頭
表示価格
より

10% OFF

一部特価品、特注品、一部商品を除く

お墓
(墓石・工事代)

店頭
表示価格
より

10% OFF

永代使用料、年間管理費、供養料、一部霊園・一部石種・屋内墓苑を除く

初回ご来店の際には「彩愛クラブ埼玉」とお申し出ください。それ以降のお申し出は特典無効となります。※他の割引サービスとの併用はできません。

有効期限
H29.3.31

お問い合わせ
資料請求



はせがわ
つなぎます。心と、いのちと、人。

0120-11-7676

(10:00~18:00 不定休)

www.hasegawa.jp

全国老人クラブ女性リーダーセミナー

平成二十八年十月五日、六日、東京霞が関の全老連で開催された。全国各都道府県から、女性を中心に参加。埼玉県からは（全老連女性委員長駒場玲子さん、川口市老連女性部三名、県老連事務局椎名さんが参加。研修テーマは「示そう！女性パワー」です。セミナー開会は全老連河野敦子さんの司会で始まりました。開会挨拶は駒場玲子さん。基調報告は全老連常務理事斎藤秀樹さん。セミナーの主旨がとても良くわかりました。特に印象に残ったのは、①会員の減少と増大策について。②「女性パワー」を大切に。会員の六割は女性です。この力をまだ生かしていない。③高齢消費者被害の防止です。その後①会員増強につながる活動（神戸市兵庫区）②地域支援合いにつながる活動（福井県鯖江市）についての事例発表が行われました。二日目は、分散会々グループ協議です。テーマは一、加入促進につながる活動。二、地域支援あいにつながる活動の推進。私のグループは大分県・長野県・鎌倉市の方々。共通していたのは「女性が思う存分に活動出来ない」で

した。会員の六割が女性です。単位クラブや地域の連合会の女性会長はまだまだ少数。これからは男性会長ばかり選ばず、単位クラブ女性会長や女性の連合会長などたくさん選出すべきと思います。男女同権の時代にそって女性が役員を担えば、解散クラブなどは出なくなり、会員減の防止も可能です。友愛訪問・サロン活動など女性だから心配りが必要な活動がますます重要になって来ています。これらの活動は地域で一体になってが大切です。女性は助けを借りるのがとても上手です。地域包括支援センターとも連携してこれらの活動を進めていきます。私の老人クラブは二代続けて女性会長です。二代目女性会長も会員と楽しく元気に活動に頑張っています。先日、町内の八十才以上の方へ「手作弁当」を配りました。今年は十一回目です。月一回の昼食会、健康講座、絵手紙サークルと女性パワー全開です。女性リーダーが活躍している、川口市老連女性部が如何に恵まれているか実感しました。

川口市 室園 千里

熊本地震災害救援拠金の御礼と報告

みなさまから多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。本会を通して拠出した金額は左記のとおりとなりましたので、ご報告いたします。

熊本地震災害救援拠金

No.	市町村名	金額 (単位:円)	No.	市町村名	金額 (単位:円)
1	川越市	155,000	16	八潮市	475,247
2	熊谷市	313,000	17	富士見市	16,000
3	川口市	789,699	18	三郷市	123,000
4	さいたま市	5,650	19	坂戸市	162,005
5	所沢市	351,000	20	鶴ヶ島市	304,666
6	飯能市	10,000	21	日高市	92,000
7	春日部市	5,000	22	吉川市	68,500
8	狭山市	364,299	23	白岡市	22,000
9	深谷市	232,901	24	三芳町	20,000
10	上尾市	180,793	25	嵐山町	20,000
11	蕨市	74,550	26	横瀬町	17,000
12	戸田市	153,100	27	長瀨町	92,750
13	入間市	80,000	28	寄居町	20,000
14	新座市	145,000	29	杉戸町	50,466
15	桶川市	78,401	30	松伏町	35,000
			合 計		4,457,027

一 訃報

本会前副会長 久喜市老連会長 柴崎 美雄 様（八十三歳）
平成二十八年八月九日逝去されました。
本会評議員 秩父市老連会長 高田 富雄 様（七十九歳）
平成二十八年十月五日逝去されました。

ここに、生前のご功績を称え謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

元気に活躍する
会員さん
紹介

白岡市老人クラブ連合会

さわやか友の会 山岸 康之氏

常におこることなく冷静に
会の発展に取り組む

「私の所属する老人クラブは明るく、元気で、さわやかにをモットーに会を運営しているのですよ」と、話された事をふと思ひ起こしました。

山岸さんとは年に何度かお会いすることがあります。常に進歩的なお話しを語られております。思い返せば平成二十一年にはじめて健康づくり大学でお会いした時に、「老人クラブの会報を毎月発行しているのですよ」と話されたことを昨日の事のように記憶しております。

そうした細やかな情報交換が大切です。世間によくいう一攫千金を夢見ることよりも、地道を歩む

べきです。なんとその情報紙の発行は現在百七十号余に達し、そうした行動が会をまとめ、運営の大きな役割を果たしていることを実感しました。

そんな山岸さんは、何事も熟慮し物事をなし遂げる人物で、これからの老人クラブの運営・推進においては、なくてはならない大切な人材です。これからの活動に大きな期待をしています。

北本市 佐田 一郎

北本市老人クラブ連合会

本町ふるさと会 佐藤 重雄氏

相手の心になって
人を支えることを忘れずに

佐藤さんとは四十数年来のお付き合いですが、いつ出会ってもさわやかな心で接してくれることに、感謝の念を感じております。

出身は浜っ子（横浜）で、結婚と同時に東京・高円寺に居を構え、いずれ迎える子供たちを、みどり豊かな地でのびのびと暮らしたいと願い、北本での生活がスタート

したそうです。

子を思う両親の願いが叶って、子供たちの成長を見とどけ、今では奥様と仲睦まじく、趣味の家庭菜園、毎朝、朝まだきの澄切ったなかを遠く、富士山の素晴らしい姿を崇拜の念を抱きながら、ウォーキングを行うのが日課です。北本に住みつき、何と幸せだと思ふ常日頃とのことです。と語られた。

そうした地域を思いやることが行動にも現れ、長年にわたりゲートボールに心を注ぎ、リーダーとして、ある時には市の大会においても優勝、準優勝等の好成绩をおさめた経験をもっております。

また、北本オケサ会（佐渡の踊り）や子供たちのワナゲ大会など、自治会、社協、グループ八重桜の会などと、町の清掃、花壇の植替えなどにも積極的に活動され、引く手もあまたの活躍ぶりです。素晴らしいの一言であり、これからの地域の為、人のためにますますのご活躍を願うひとりでございます。

北本市 佐田 一郎

「彩愛クラブ埼玉」

の発行には、共同募金の配分を受けています。



編集後記

猛暑の七月から「天高し」の十一月までの、歩みを振り返ると、市町村老連会長研修会・健康づくり大学の入学式・新任単位クラブ会長研修会・シルバースポーツ大会・社交ダンス大会等の事業も多く、広報誌「彩愛クラブ埼玉」の最も忙しい期間である。

昨年度からの介護保険制度改正に伴い、老人クラブが「新地域支援事業への参画」の周知を広報委員会でも検討・議論している。さらに特別号（全会員配布号）の編集作業も加わって我々広報委員にとって忙しかった。午前十時に始まった広報委員会が午後四時過ぎまでかかることも何度かあった。そんな広報誌「彩愛クラブ埼玉」についてお褒めのことが事務局に届くと、我々、広報委員の喜びと励みになる。

新地域支援事業への参画に向けた、友愛活動の更なる展開、会員増強の達成など県老連の抱える課題の解決に我々の仕事役立つことを願いながら、それから、ますます高齢化するなかで、どのように若返りを図るかを模索しながら、

深谷市 小林 英

